

令和 6 年度 平野区区政会議（１２月）全体会 会議録

1 開催日時

令和 6 年 1 2 月 3 日（火） 1 9 時 0 0 分～2 0 時 5 7 分

2 開催場所

コミュニティプラザ平野（平野区民センター）大ホール

3 出席者

（区政会議委員） 2 4 名

石本委員、伊東委員、大久保委員、應矢委員、菊地委員、黒田委員、菰田委員、
齊藤委員、白石委員、鈴木委員、立石委員、田部井委員、戸川委員、農野委員、
八野委員、華房委員、速水委員、福島委員、福本委員、松野委員、三井委員、
南委員、明浄委員、森上委員

（平野区選出市会議員） 2 名

永井議員、永田議員

（平野区役所職員） 2 2 名

武市区長、安井副区長、立本安全安心まちづくり課長、
京極まちづくり推進担当課長、塩野企画調整担当課長、
松本総務課長、木村安全安心まちづくり課長代理、
丸山防災企画担当課長代理、辻まちづくり推進担当課長代理、
西田保健福祉課長、小林地域保健担当課長、中西生活支援課長、
澤井保健福祉課長代理、小山保健福祉課長代理、植山地域担当課長代理、
齊藤保健副主幹、堀川子育て支援担当課長、中井政策推進課長兼教育担当課長、
星野政策推進課長代理、尾崎こども家庭担当課長代理、

上窪こども見守り担当課長代理、松元総務課担当係長

4 議題

令和7年度平野区運営方針の策定に向けて

5 会議内容

○司会（小西政策推進課担当係長）

定刻になりましたので、始めさせていただきます。

皆さん、こんばんは。

ただいまより令和6年度平野区区政会議12月全体会を開催します。

本日はお忙しい中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

私は司会を務めさせていただきます、平野区役所政策推進課の小西でございます。

よろしくお願い申し上げます。

それでは、開会に当たりまして、区長の武市よりご挨拶申し上げます。

○武市区長

どうも、皆様こんばんは。平野区長の武市でございます。

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

今回の区政会議では、議題のほうにありますように「令和7年度の平野区の運営方針の策定に向けて」ということで、区役所のほうからの説明をまずお聞きいただきまして、その後、委員の皆様よりご意見を頂戴したいと考えております。

限られた時間ではございますけれども、忌憚のない意見交換をしてみたいと考えておりますので、どうぞ最後までよろしくお願いいたします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

続きまして、本日ご出席の皆様と関係者のご紹介でございますが、お配りしておりますA3両面の平野区政会議委員及び関係者名簿のほうをご覧ください。表面が名簿、裏面が座席表となっております。委員の皆様及び区役所職員の紹介につきましては、大変恐縮ではございますが、こちらの名簿をもちましてご紹介とさせていただきます。

続きまして、本日オブザーバーとしてご出席いただいております市会議員の方々をご紹介させていただきます。

永井広幸議員でございます。

○永井議員

お願いします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

永田典子議員でございます。

○永田議員

こんばんは。よろしくお願いします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

続きまして、傍聴者などのご報告ですが、本日傍聴、並びに報道機関等の取材はございません。

次に、本日使用する資料の確認をさせていただきます。資料右上に番号を付けております。事前に送付した資料として【事前資料1】、また、当日机の上に置かせていただいております資料として、先ほどの座席表の【当日資料1】、また、アンケートの【当日資料2】、加えて、前回の区政会議におけるご意見の一覧表がございます。資料の不足や、事前送付資料を本日持参されていない方がいらっしゃいましたら、挙

手にてお近くの職員にお知らせください。

それではここで、本日のタイムスケジュールについて簡単にご説明させていただきます。まずは次第のとおり、区役所から今回の議題であります「令和7年度平野区運営方針の策定に向けて」を約10分程度でご説明させていただきます。

それが終わりましたら、各グループに分かれて意見交換を行っていただきます。小グループでの意見交換は、移動、休憩も含めまして70分程度を予定しております。

その後、再び今のお席に戻っていただき全体会を再開し、この場では、各グループで出たご意見などをご報告していただき、それを基に皆さんで議論をしていただければと思います。

終了は21時を予定しておりますので、円滑な進行にご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、ここから農野議長に議事進行をお願いします。

最初に、会議の成立及び会議の公開について確認をお願いいたします。

○農野議長

はい、ありがとうございます。

それでは、「会議の成立」及び「会議の公開」について確認させていただきます。

○司会（小西政策推進課担当係長）

すみません。失礼しました。

現在の出席委員数ですが、20名となっております。よろしくお願いいたします。

○農野議長

この平野区の区政会議は、委員定数の過半数の出席をもって会議が有効となるところでございます。本日は、委員31名中20名のご参加をいただいておりますので、

まず本会議は有効であることをご報告いたします。

また、この会議は録音、録画され、後日会議の様子や会議録がホームページ等で公開されますことをご了承ください。

また、限られた時間の中、多数の委員の皆様にご出席いただいております。会議の円滑な進行にご協力くださいますようお願いを申し上げます。

それでは、本日の議題となります「令和7年度平野区さんの運営方針の策定について」についてのご説明を区役所よりお願い申し上げます。よろしくお願いします。

○中井政策推進課長

失礼いたします。平野区役所政策推進課長の中井でございます。いつもお世話になっております。

それでは、恐れ入りますが、座って説明させていただきます。

お手元、先ほど紹介させていただきました【事前資料1】をお手元に置いていただけますでしょうか。まずは、3ページをご覧くださいませでしょうか。

今回の区政会議では、平野区の3つの経営課題を解決するために、次年度はどのような取組が有効かという点について、皆様にご意見をいただきたいと考えております。今年度の具体的取組などを参考にご意見いただければと考えておりますので、よろしくお願いします。

続きまして、4ページをご覧くださいませでしょうか。

まず、このページは「将来ビジョン」と「運営方針」の関係性について説明しているものでございます。平野区の「将来ビジョン」は令和4年度から令和7年度までの平野区がめざす将来像「笑顔輝くまち ひらの」などを取りまとめたものでございます。この実現に向けて、年度ごとのアクションプランである「運営方針」に主要な戦略を定めております。

「将来ビジョン」における3つの施策（まちづくり）につきましては、「運営方針」

でそれぞれを「経営課題」と位置づけております。各経営課題に対して、「課題認識」、「主な戦略」、そして「具体的取組」を踏まえた「成果目標」を毎年度設定し、進捗を管理していくことになっております。なお、来年度、令和7年度は将来ビジョンの最終年度となるため、本日お示ししている運営方針（案）におきましては、今年度の方針を継続したものとなっております。

皆様方には、これまでの区政会議でも運営方針についてご説明させていただく機会がございましたので、5ページ以降につきましては、簡単な説明とさせていただきます。

では、その5ページをまずご覧ください。

「令和7年度の基本的な考え方」についてです。具体的には、次の4つの方針、防災力の強化、「住民同士のつながり」「地域全体での見守り」「たくさんの人や関係団体が連携・協力できる地域活動のネットワークづくり」のための取組、こどもたちの「生きる力」のための切れ目のない施策、虐待を未然に防ぎ、深刻化させないための対策、これらを重点的に進めてまいります。

これらを重点的に、かつ着実に進めるために、先ほどの4ページに記載しております3つの経営課題、安全・安心のまちづくり、みんなで支えあう福祉のまちづくり、こどもが元気で育つまちづくり、これらに取り組んでまいります。

次に、6ページをご覧くださいませでしょうか。この6ページ以降は、それぞれの経営課題について要点をかいつまんで説明させていただきます。

まず、経営課題1「安心・安全のまちづくり」につきましては、災害時の「自助・共助」を推進していくために、住民参加の防災活動を地域主体で実施できるよう自主防災組織の活動支援を行ってまいります。また、こどもや女性への犯罪や高齢者に対する特殊詐欺等の防止に向けて、地域ぐるみで犯罪を発生させないような環境づくりを推進してまいります。

次に、各地域活動協議会の自律運営をめざして、地域の実情に即した効果的な支援

をまちづくりセンターを活用しながら行ってまいります。さらに、区内に多くある未利用地の有効活用についても、社会情勢の変化などを注視しながら進めてまいります。

続きまして、7ページをご覧ください。こちら、主な戦略を記載しております。令和7年度の主な戦略は、今年度から大きな変更はございませんので、詳細につきましては、お手元の資料をご確認いただければと存じますので、よろしくお願いいたします。

次に、8ページをご覧ください。令和6年度の具体的な取組を記載しております。これらを参考に、後ほどの令和7年度の取組について意見交換をさせていただきますが、併せて、隣の9ページにこれまでの区政会議でいただいたご意見を抜粋して記載させていただいておりますので、これらもご参考にしていただければと存じます。

続きまして、10ページをご覧ください。経営課題2「みんなで支えあう福祉のまちづくり」につきましては、支援を必要とする方が孤立しないよう「住民同士のつながり」「地域全体での見守り」「たくさんの人や関係団体が連携・協力できる地域活動のネットワークづくり」のための地域特性に応じた支援体制を機能させていくことによる地域福祉力の向上を進めるとともに、様々な福祉課題に対して「平野区地域保健福祉計画（第3期）」に沿って継続的に取り組んでまいります。また、健康寿命の延伸を図るため、寝たきり防止の運動習慣や認知症の発症を予防（遅延）する取組の支援などを進めてまいります。

次に、11ページをご覧ください。こちらには、経営課題2に係る主な戦略を記載させていただいておりますので、また改めてご一読いただければと存じます。

続きまして、12ページをご覧ください。こちらには、令和6年度の具体的な取組を記載させていただいております。その右、13ページには、先ほどと同様、これまでの区政会議でいただいたご意見の抜粋を記載させていただいております。

続きまして、14ページをご覧ください。こちらには、経営課題3「こどもが元気で育つまちづくり」につきましては、「重大虐待ゼロ」をめざし、「未然防止」

「早期発見」「早期対応」の３つの観点から体制を充実させる取組とともに、児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援を進めてまいります。

また、複合的な家庭問題を抱えている事例に対して、教育分野及び保健福祉分野の支援を連携した総合的な支援を進めるとともに、高校中退の問題に対して高校生活定着への支援を進めてまいります。さらに、学習習慣の定着を通じて「生きる力」を身につけることができるよう、こどもたちの学びを支援するため、読書運動や清掃活動などに対する表彰や学力サポート事業を進めてまいります。

続きまして、１５ページをご覧くださいませでしょうか。こちらは、経営課題３にかかる主な戦略を記載させていただいております。また改めてご一読いただければと存じます。

次の１６ページ、こちらには令和６年度の具体的な取組を記載させていただいております。次に１７ページ、こちらには、これまで区政会議でいただいたご意見を抜粋で記載させていただいております。

これまで説明させていただいたとおり、８ページ、１２ページ、１６ページにあります令和６年度の具体取組、これらを参考にしていただき、令和７年度の取組について、この後のグループ別の意見交換会におきまして、皆様からご忌憚のないご意見・ご発言をお願いできればと存じますので、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、令和７年度の運営方針（案）は、先にご説明させていただきましたとおり、今年度からの継続を予定しておりますが、運営方針の基盤となります中期的な目標である将来ビジョン、こちらのビジョンの改定につきましては、来年度中に行う必要がございます。このビジョンの改定に向けては、今後の会議で皆様のご意見を伺いたいと存じますので、どうぞ合わせてよろしくお願いいたします。

以上で、私からの説明は終了させていただきます。

○農野議長

ありがとうございました。それでは、ここで全体会を一旦中断いたしまして、小グループに分かれていただくような形になります。現在、23名の委員さんにご出席いただいていると思いますが、事務局さんからご案内をよろしくお願いいたします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

先ほどご説明させていただきました内容についてのご意見・ご質問がございましたら、この後のグループ別意見交換会や後半の全体会などでお伺いしますので、その際よろしくお願いいたします。

では、これから皆様には席を移動していただき、グループごとに議論をしていただきます。なお、後半の全体会では、各グループで話し合われた内容を委員の代表の方から報告していただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

意見交換の場所ですが、「安全安心まちづくり」グループの皆様は2階の会議室となります。「地域福祉グループ」の皆様は、現在お座りいただいておりますこのホールの前方右側、パーティションの裏側に机を設置しております。「こども教育グループ」の皆様は、会場入り口入って左側の机になります。また、市会議員の皆様もそれぞれの席に見学席をご用意しておりますので、よろしければご見学いただければと思います。

なお、移動する際、お荷物・貴重品などは各自での管理をよろしくお願いいたします。

全体会の再開は約70分後の20時25分からを予定しております。

それでは皆様、移動のほうよろしくお願いいたします。

（小グループ意見交換会のため一時中断）

（再開）

○農野議長

皆さんお戻りでしょうか。

それでは、ただいまより全体会を再開したいと思います。よろしいでしょうか。

本日の前半に「令和7年度の平野区運営方針の策定に向けて」について区役所さんからご説明がありました。それを基に各グループで具体的取組等についてご議論いただきましたけれども、その内容について委員の皆様から出た主なご意見について、それぞれのグループの代表の委員さんより順にご報告をお願いしたいと思います。

まずは一番右、安全安心まちづくりグループからの発表をよろしくお願いいたします。

マイクありますか。よろしくお願いいたします。

○福本委員

安全安心まちづくりグループの福本と申します。

ちょっと活発な意見が出ましたので、なかなか集約できてっていう部分がないんですけど、どれもこれもきらびやかな意見っていう感じがしますので、ちょっと意見をずっと羅列するという形になりますけど、よろしくお願いいたします。

まず、防犯・防災を中心にやっぱり担い手が不足しているっていうことで、区からの広報紙やとか、やっぱり広報紙などでのそういう担い手をつくるための充実を求める意見がございました。また、防犯・防災を中心に情報伝達が必要だっていうことで、外国人などにも広げていく必要があるという意見。それから、青色防犯パトロールの件なんですけど、やっぱり老朽化してきているので、買い換えるのに補助金等の検討をしてほしいという意見が出ました。また、地域での防災の取組の各地区での共有化ということで、実施予定の防災訓練だとか、そういうような情報を共有するような伝達をしてほしいという意見。

それから、自転車マナーの問題。歩行者が危険がないような通行区分にしてほしい

という意見。防犯カメラの設置について、防犯カメラはやっぱり計画的に進めていってほしいという意見がありました。あと、またカミキリムシの被害がどんどん拡大しているってということで、これを放置していくとどんどんそういうのが伝染というか伝播していくので、対策を進めてほしいという意見がありました。

未利用地、利用されていない未利用地を、図書館など地域住民のための施設設置などに有効活用してほしいという意見が出ました。あと、一部地域では、警察が行っているパトロールなどは住民の安心につながっている。実際のちょっと実例も見せていただいたんですけど、こういった安心感を区全域に取り組んでもらうように働きかけてほしいという意見が出ました。

以上、ちょっと項目の羅列になりましたが、安全安心まちづくりからの発表です。以上です。

○農野議長

ありがとうございます。的確にご発表いただきましてありがとうございます。

それでは、続いて、地域福祉グループからのご発表をよろしくお願いします。

○立石委員

地域福祉グループからです。

地域福祉グループでは、役所のほうからの社会福祉協議会さんが今やっという平野区の見守り相談室、例えば様子がいつもと違うとか、新聞がたまっているとか、そういった物事があったときとかに連絡を受けて駆けつけてくれるっていうふうな、そういうふうな相談室の話であったり、あと、見守りで認知症の方が見守りでデイっていうのがスタートしている。これも社会福祉協議会の事業なんですけれども、そういったご紹介がございました。

そこからお話のほうが発展していったというふうなところで、あともう一点が役所

のほうでスタートされた要援護者名簿の方の個別避難計画の話。個別避難計画が今、試行的に12月から6,000人ぐらい要援護者名簿の対象の方がいらっしゃるみたいなんですけど、うち要介護5について、そして、人工呼吸器をつけていらっしゃる方というふうな方について、個別避難計画の作成をスタートするための今、文書を郵送して、それを同意をもらって作成をスタートさせるというふうなことを要介護の重い方からスタートさせているというようなご案内、ご紹介がありました。

そこから話がいろいろ白熱しまして、やっぱりBCPについて、事業継続計画、災害時の事業の復旧であったり感染のとき、そして大地震だったりというふうなときに、地域としてどういった援護が必要な人に支援ができるのかというふうなところでは、やっぱり地域の中では役所の人は企画を立てるだけでいいんだけど、実際はやっぱり助けに行けないじゃないかと。それをやっぱり地域に全て投げていくっていうふうなのは、なかなか地域のほうでもその事業に取り組みにくいというふうなこととかがあったりというふうな意見も多く出ていました。

まずは自分、家族が話し合いをしてというふうに、自分事として取り組む。自分が考えていくっていうことがやっぱり中心にしていかなければならないというふうなことをもっと役所のほうからの要援護者名簿の作成についても、PRの中にそういったことも書いていただければというふうな、そんな話が出ていたところです。

あとは、この手の話とかBCPの話をしてても要援護者名簿の話をしてても、やはり広報が不十分だよっていうふうなところがまた出てきました。例えば、周知できていない。若い世代には特にこういったことも周知できていないので、大人も子どももこれのことを知っている状況っていうのをつくっていかなければならないというふうなところで、じゃあこのPR不足についてというふうなところについては、やはりホームページの話も出てきたんですけども、例えば市のシステムを平野区では使っていて、それではどうしても広報が不十分、リンクを貼るだけっていうふうなホームページもなってしまう。平野区の中でもSNS、例えばフェイスブックであったりLINE

Eであったりとかいうふうなのをうまく活用している事業とかもあるようですので、やっぱりその部分を、もっとうまく各事業に運用していくっていうふうなところで、PRがうまく大人も子どももこの事業について知っているっていうふうな状況をつくっていけるのではないかなというお話も出ていたところです。

あとは、医療とか介護とかいう言葉は保健福祉計画の中にすごく欠落しているなどというふうなところも感じているところで、やっぱり地域保健福祉計画の中には、健康が大切というのであれば、もう少し医療・介護っていう言葉を盛り込んでいくっていう必要があるんじゃないかっていうことも出ていたところです。

最後にですけれども、12月の3日から9日まで障がい者の週間があるっていうふうなことでご案内のほうがありました。役所のほうでもそういった展示等をされているというふうなことで、ぜひご興味を持って、この機会を通じていろいろ話し合いが進めていければというふうなことが出ておりました。

以上でございます。

○農野議長

ありがとうございます。

それでは、最後にこども教育グループからご発表をお願いいたします。

○石本委員

こども教育グループでは、まず最初に学校で使用しているタブレットについてのお話がありました。不登校の子どもたちはオンライン授業を受けたりできるんですけれども、それが出席日数に入らないのはどうしてだろうかという疑問がありました。一応、今は学校へ出てくる機会がオンラインだけになってしまうとなくなるので、できれば学校に来てほしいっていう考えの下に出席日数には入れていないのではないかなというお話をいただきました。

あと、タブレットが重いんじゃないかとか、今後タブレットを使ってどういう方向で教育をしていくのかっていうことに関しても話がありました。そのタブレット端末が古くなって交換する際に、地域の人とか高齢者などに再利用してもらえないかなどという話も出て、例えば、こどもが高齢者にタブレットの使い方を教えるとかいう、そういう交流の場にもなるんじゃないかという意見も出ました。

あと、子育て支援情報誌についてもお話がありました。いろんな子育ての情報が載っているんですけど、その中に相談窓口が載っていました。特にひとり親の家庭に対する相談窓口があるそうなんですけれども、ひとり親になる前、離婚を考えてこれからどうしようかなっていう方の相談も増えているそうなので、この情報誌とか相談窓口の周知と、あと学校とか保育園の先生にもこういう窓口があるよっていうのを周知したら、一番近くで関わっている方がアドバイスできるんじゃないかっていう話が出ました。

それから、瓜破西中学校で行われている認知症サポーター養成講座についての話がありました。これは、福祉とか地域とか防災とか教育、全部を兼ね備えた施策になるんじゃないかということで、学校の教育現場で校長先生が変わると、特に教育っていう部分では結構がらっと変わったりするので、できたら区役所のほうで推し進めてほしい方針じゃないかなという話が出ました。

最後に、学校協議会についてです。学校協議会というものをそもそも保護者の人たちは知らないんじゃないかっていうところで、例えば、学力テストで今自分たちの通っている学校はどのぐらいのレベルにいるのかとか、そういう今の実情を知ったほうがいい人に全然その情報が届いていないので、これもどうやってみんなに知らせていったらいいのかなっていう話が出ていました。

以上です。

○農野議長

ありがとうございます。いろいろとグループの中でご議論いただいた内容をご発表いただきましたが、少し時間がございます。前半に区役所さんからご説明いただいた内容への質問なども含めて、どんなことでも結構ですので、委員の皆様方から忌憚のないご意見をいただければと思うんですが、いかがでしょうか。

ご発言される方は挙手をしていただき、事務局さんがお届けするマイクを使ってお名前とどういった内容かということをおっしゃっていただいてから、簡潔にお話ししていただけたらありがたいと思いますが、いかがでしょうか。

いろんな角度からご意見をいただいたようなんですが、委員の皆様方、いかがですか。よろしいですか。

あるいは、全体を通じて何かご意見などございませんでしょうか。特にいいですか。

それでは、松野副議長さんから本日のまとめをお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○松野副議長

皆さん、こんばんは。副議長の松野と申します。よろしくお願いいたします。

令和7年度、平野区運営方針の策定に向かってということで、今回の区政会議なんですけれども、各経営課題を解決するにはどのような取組が有効なのかということで、いろいろご意見をいただいたわけなんですけれども、私、これ3分以内にまとめてくれという話だったんで、なかなか難しいなと思うところですけど、まずね。

○農野議長

3分以上でも大丈夫です。

○松野副議長

3分以上でも大丈夫ですか。

○農野議長

1 時間は困りますけど。

○松野副議長

経営課題の 1 ですね。安全・安心のまちづくりということで、まず私、これ防災力の強化というのが根本的に大事なことだと思います。ただ、現状は防犯・防災活動をするにおいて、成り手不足だという先ほど意見が出ました。これ、何をするにしても今なかなか成り手不足で、私は民生委員をやっておるんですけど、民生も保護司も町会も地活協も成り手不足やと思うんですけども、なかなか難しい問題でございまして、粘り強くやっていかなきゃあないなと思っとなんですけど、それから地域防災訓練、これを他の地域と連携して、よそでこんなんやっているよということをもっと発信したらどうかという意見が出ました。それから、青色防犯パトロールについてももうちょっと予算をつけて、車も結構傷んできておりますし、そういう面やと思います。

それから自転車のマナーとか、あるいは防犯カメラの設置をしていただくということと、それと、以前からついておる分についてはちょっと新しいのに変えてもらうとかいう動き、それから、細かいところではカミキリムシのこういう防虫というんですかね、それから未利用地の有効活用ということで、平野区が一番、例えば市営住宅の跡地であるとか学校用地の跡ということで、何か 40 か所ぐらいあるということで、これをもっと有効活用したらどうやというような意見ですね、出ました。それから、警察のパトロールで、我々区民もああして回っていただくと安心感があるなというふうなことでございます。

それから、経営課題の 2 ですね。「みんなで支えあう福祉のまちづくり」ということでいろいろ出たんですけども、見守り活動、それから 12 月 3 日から一週間、9

日まで障がい者の週間ですということで、区役所1階のロビーのところにいろいろ作品を展示しております。私個人的な考えですけど、今元気ですけれども、病気になったり事故に遭ったりしたらたちまち障がい者になるので、私もいつ何どき障がい者になるか分からないという思いを持っておりますので、非常に関心を持っております。

それから個別避難計画ということで、災害があったときとか、前もって区役所のほうから同意書といいますかを送って、それをご本人とかご家族とか個別会議してもらって、区役所も交えて。それらを情報共有して地域の方とか福祉の関係者の人、ただ、ここで一番問題は、実際に地震とか台風が起こったら、誰が助けに行くんやということで、そこでなかなか前へ進まないというところがあると思うんですけども、それは最終で最後の話であって、一番大事な大事な話なんですけど、まず最初にこの名簿をつくって個別の避難計画をつくるという、これをしないと前に進まないとは思いますが、いろんな意見があるかとは思いますが、区役所のほうも頑張ってください、今、平野区内に対象の方が6,000人おられるらしいんですけど、今回は300所帯にそういう同意書を送って、12月16日までに返送ということですけども、若干、今月いっぱいでもいいかなとも思うんですけど、そういうことで前に動きましたということで、もう非常に私個人的には、別にべんちゃら言うわけじゃないんですけど、区役所のほうでもものすごく頑張ってください、こういう個別避難計画をつくっていただいてありがたいなと思っております。

それから、経営課題の3番、「こどもが元気で育つまちづくり」ということで、いろいろご意見が出たんですけど、学校協議会の情報を誰も知らんのちゃうとか、私も学校協議会に出ているんですけどね、小学校、中学校。その中にはいろんな意見が出ますし、また校長先生もいろんなご意見の人もおられたりして、変わると先ほど言われたようにちょっと方針が変わったりすることも多々いうたらいかんけど、まああります。それは、その人のお考えでやっておられるので。

それから瓜破西地域が認知症のサポーターということで、そういうのに取り組んで

やっておられるとか、あるいはタブレット、あれを使っていろいろなことを使っているんですけども、これ重いと。ほんで古くなってきたら地域で再利用していったら、また地域と子どもさんとまた交流を深められるんじゃないかなというような意見とか、不登校の出席日数の話とか、不登校とかいじめとか永遠のテーマみたいで、どこへ行ってもこの話が出まして、私この間学校、瓜破中学校へ行ったときもその話が出まして、ある人が非常に大きな声でわっと言わはったんですけど、興奮されて言われましたけど、私個人的には、それはあまり大きい声で言うて通るんやったら、みんな大きい声を出すと思うんですけどね、そういう方も中にはおられるんですけど、地域のこと、学校のことを思ってそういう行動になったかなと思います。

あと、どうでしたか、子どもさん元気で育つということで、こどもの健やかな育みを支えるため、子どもたちが「生きる力」を身につけ、自分らしくいきいきと成長していけるような切れ目のない施策を進めていただくということと、孤立した家庭環境や保護者が抱える不安の中で児童虐待が深刻化しており、虐待を未然に防ぎ、深刻化させないための対策をより一層強化していくというのが非常に大事かと思います。

何か取り留めのない話になりましたけど、「笑顔輝くまち ひらの」の実現に向けて、本日出席していただいている皆様のご支援・ご協力をお願いしまして、私の拙い講評ですけれども、終わりたいと思います。

どうもありがとうございました。

○農野議長

松野副議長さん、ありがとうございました。地域福祉の中核、社会福祉協議会さんからの様々な観点をお話ししていただけたと思います。

最後に、本日出席の市議員の方からぜひご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○永田議員

皆様お疲れさまでございます。本当に遅くまで熱心にご議論いただきまして、また平野区の発展のため、また地域のために本当にこのように皆様の忌憚のないご意見を聞かせていただいて、本当にありがとうございます。

私も3グループ回らせていただいたんですけれども、やっぱりそれぞれのグループの中の皆様のお話を聞かせていただいて、それぞれ地域によって様々課題がやっぱり違う中で、その中で特に取り組まれていることをやっぱり私も聞かせていただくことによって、こういう取組をしていただいているところがあるんだ、またなかなか難しい課題、それもいろいろ出していただいて、本当に大変毎回勉強させていただいているところでございます。

そして、やはり平野区は今も笑顔輝くというお話もありましたけど、やっぱり多世代の交流ができる地域だと思っておりますので、例えば、こどもさんのことも地域でみんなで見守りながら、またこどもたちは、例えば防災の災害のときにはすごいたくましく力になってもらったり、また地域のお手伝いをさせていただきたいというご要望とともに、やっぱりこの地域の高齢者のサポーター、認知症サポーターになっていただく取組もやっていたりとか、これまで平野区を支えていただいた高齢者の皆様に、感謝とともにこどもたちも大きな力になってもらう。やっぱりこういう交流、本当に平野区全体で一緒になって皆様のご意見をいろいろ聞かせていただきながら、一緒に取り組ませていただいていることが本当にありがたいことやなというふうに思っているところでございます。

そして、ちょっと今日お話の中にはなかなか出てこなかったんですけれど、今やはり日本一高いと言われる、介護保険料が高いと言われている大阪市でございまして、その中で、超党派の議員で7月からプロジェクトチームを立ち上げまして、何とかこの介護保険料を安くといいますか、ただ安くなるのはいいんですけれど、やっぱり元気で長生きしていただくその取組を全市を挙げてやっていかないといけないというこ

とで、私たち議員もしっかり何ができるのかということを今取り組ませていただいて、プロジェクトチームの中で検討をさせていただき、また市長にも要望を出したりとか、皆さんの地域の声もしっかり聞かせていただいて取り組ませていただきたいと思っているところでございますので、また忌憚のないご意見も聞かせていただきたいと思っているところでございます。

本日は皆様のいろいろお聞きしたご意見を、また区役所と一緒に私たち議員も取り組ませていただけるように頑張ってみりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

本日は遅くまでありがとうございました。

○農野議長

ありがとうございます。本当に委員の皆様方、遅くまでありがとうございます。

私の大学の向かいにも公園がございまして、ご存じのように。それが時間帯によって、あるいは曜日によって公園の様子が変わるんですね、やっぱりね。そういうふうなことを日々感じたりしております。

ぜひ、今後も委員の皆様方がこの地域の中でご活躍しておられる中で、気づきですよ。そういうようなものをぜひまたためていただいて、またこの場に来ていただけたらと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

それでは、事務局さんにお返ししたいと思います。円滑な議事進行へのご協力、皆様ありがとうございました。

○司会（小西政策推進課担当係長）

農野議長、松野副議長、ありがとうございます。

それでは最後に、本日お配りしております【当日資料２】アンケートにつきましてご記入のほうをお願いいたします。アンケートのほう、ご記入が終わりましたら、最

最終的には名札とともにそのまま机においてお帰りいただきますようお願いいたします。
ただし、自由意見欄の記載などで後日のアンケート提出を希望される場合は、別途返信用の封筒をお渡しさせていただきますので、お帰りの際、お近くの職員にお声がけください。

区役所からの説明は以上でございます。

それでは、閉会に当たりまして、区長よりご挨拶申し上げます。

○武市区長

どうも、委員の皆様、市会議員の皆様、長時間にわたりまして本当にありがとうございました。

この間、毎回のようによくやって情報を伝えるか、広報の話が出てきております。本当に単純な広報だけではなくて、区役所が今やっていることを本当に必要な人に、その情報を必要としている人に効果的に伝えるにはどうしたらいいかみたいなことを度々皆様からいろんなご意見をいただいて、いつも工夫をしたいと思っているんですけども、なかなか思うようにいっていないところもございます。

今日お話を聞いた中で、その困っている人の身近な人に伝える、そしたら伝わるんじゃないかというようなご意見もいただきました。ちょっといろんなことを考えながらターゲットを絞って、最も効果的な方法みたいなことをもっと掘り下げて考えてみたいと今日思ったところでございます。

こどものタブレットの話が1個出ましたのでご紹介をしたいと思ったんですけども、先日、瓜破小学校の150周年の記念式典に行きまして、瓜破小学校のこどもたちが全員自分のタブレットを持って、自分の学校の好きな場所、好きな友達との場面、いろんなことを写真に撮ろうって言って、その小学校のいろんなところでタブレットで写真を撮って、それを講堂中にばーっと飾って150年のお祝いをしていました。そういうふうにこどもが教室の中だけでなく、学校のいろんなところ

ろにタブレットを持って行っているいろんな使い方ができるというのは、やりながら、先生も工夫をしながらやっておられるんだなというようなことを思ったことをちょっとご紹介させていただきたかったということです。

本当に今日はいろいろありがとうございました。令和7年度の運営方針につきましても、皆様方のこれまでの様々なご意見をお借りしながら、できるだけ反映しながら立ててまいりたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

○司会（小西政策推進課担当係長）

それではこれで、平野区区政会議12月全体会を終了いたします。

ありがとうございました。

—了—